

## 真駒内地区新設義務教育学校検討委員会ニュース

真駒内地区の真駒内桜山小学校と真駒内中学校は、真駒内桜山小学校の敷地に新たに校舎を整備し、令和9年4月に義務教育学校として新しく生まれ変わる予定です。

### 第6回義務教育学校検討委員会を開催しました

#### 開催概要

日時：令和6年11月25日（月）10時30分～12時

場所：札幌市立真駒内中学校1階金工室

新設校の最終校名案は  
まこまないがくえん  
「真駒内学園」に決定しました。

さっぽろしりつぎむきょういくがっこうまこまないがくえん  
正式名称「札幌市立義務教育学校真駒内学園」

#### 校名案の意見書の手交について

第6回検討委員会でとりまとめた、新設校の校名に関する意見書が、令和6年12月19日に検討委員会横堀代表から教育長へ提出されました。

今後は、札幌市議会にて学校設置条例改正について審議されます。



校名案に関する意見書を教育長に手交する横堀代表

## 校名案の意見書について

新設校の校名案について、教育委員会へ提出する意見書について、以下のとおりまとめました。

### (意見書概要)

#### 新設校の校名案は

さっぽろしりつぎむきょういくがっこうまこまないがくえん  
「札幌市立義務教育学校真駒内学園」とする。

#### 〈選定理由〉

- ・ 本学園に進学予定の児童生徒は、現在、真駒内中学校・真駒内桜山小学校・駒岡小学校の3校に在籍しており、校区は大変広い。本案は、その多くの子どもたちや地域住民に馴染みがあり、分かりやすく広く受け入れられる名称である。
- ・ 「真駒内」という地域の名称は、地理的イメージやオリンピックなどの歴史的背景から札幌市全域や全国的にも定着している。
- ・ 真駒内地区初の義務教育学校であり、9年間の学びを通して、互いを尊重し合い、協働的かつ主体的、創造的に行動することができる子どもになってほしいという願いが込められている。

## 第6回検討員会での審議内容について

第4回・第5回に続き、第6回でも新設校の校名について、地域や保護者の立場から活発に意見が交わされ、長時間にわたって熱心な議論が行われました。「真駒内」、「真駒内桜山」どちらの校名案も良さがあることから、委員の間で意見が分かれ、最終的に採決を行い、新設校の校名案が「真駒内学園」に決定しました。

### 【委員からの主な意見】

- 「真駒内桜山」の)桜には、寒い冬を越え、咲き誇るその姿は春の喜びをもたらし、また、幸先の良い物事の始まりを意味すると言われている。
- 「真駒内桜山」の)桜という言葉は非常に心温まる。児童生徒が温かい気持ちになるのではないか。また、春の躍動感、新たな出会い・希望、未来や飛躍などといった数々の要素が含まれると考える。
- 「真駒内」がシンプルでよい。

